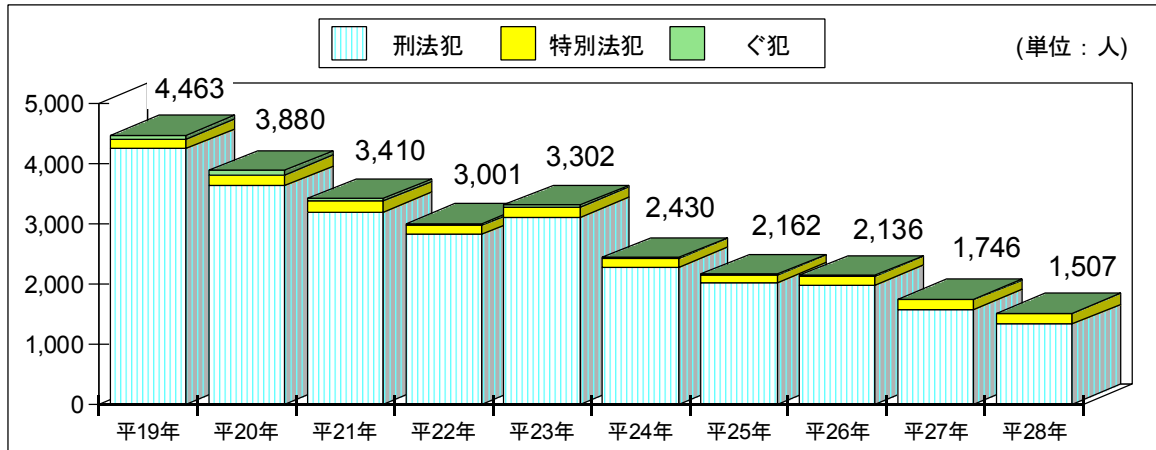


平成28年中の少年非行等の概況

● 少年非行等の概要

◆ 平成28年の非行少年

平成28年に道内で検挙・補導した非行少年は1,507人で、前年に比べ239人(13.7%)減少しました。



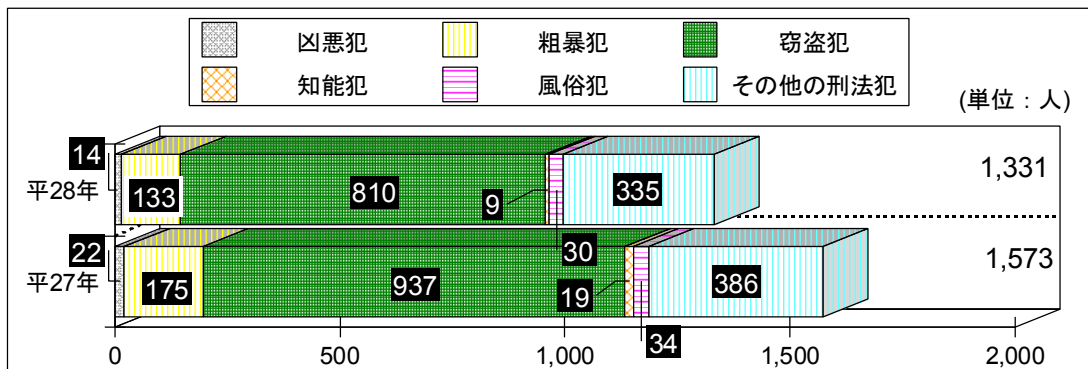
◆ 刑法犯の検挙・補導状況

○ 非行少年の8割を超える刑法犯

刑法上の罪を犯し又は触れる行為をしたため検挙・補導した少年は1,331人で、全体の88.3%を占め、前年に比べ242人(15.4%)減少しました。
1,331人のうち444人(33.4%)は、14歳未満の触法少年です。



○ 罪種別の検挙・補導状況



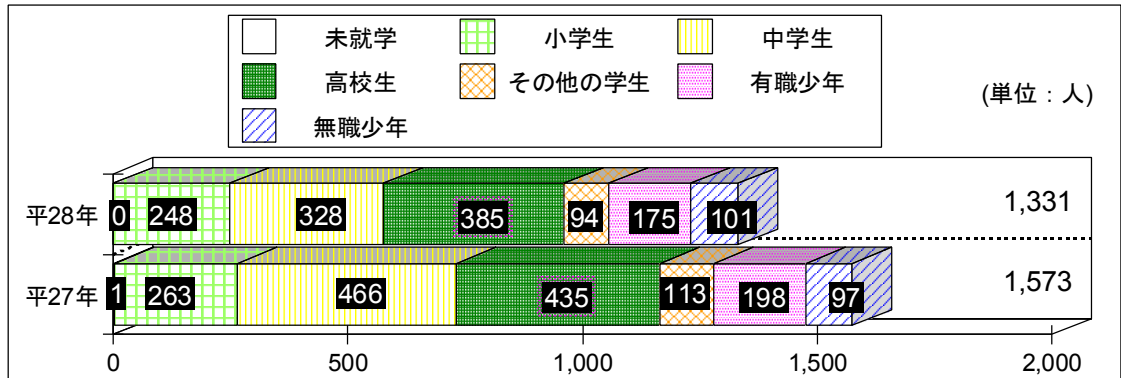
凶悪犯の中では、強盗が6人(占有率42.9%)で最も多くなっています。
粗暴犯の中では、傷害が78人(占有率58.6%)で最も多くなっています。

窃盗犯は810人で刑法犯の60.9%を占め、窃盗の手口では、万引きが562人(占有率69.4%)で最も多くなっています。

その他の刑法犯は、占有離脱物横領が211人(占有率15.9%)で最も多くなっています。

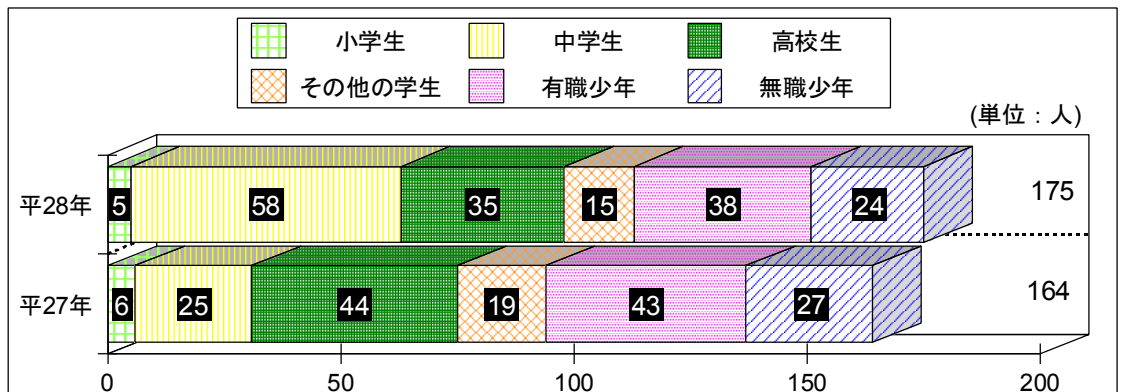
○ 学職別の検挙・補導状況

学職別では、高校生が385人(構成比28.9%)で最も多く、次いで中学生が328人(構成比24.6%)で、高校生と中学生で53.5%を占めます。



◆ 特別法犯の検挙・補導状況

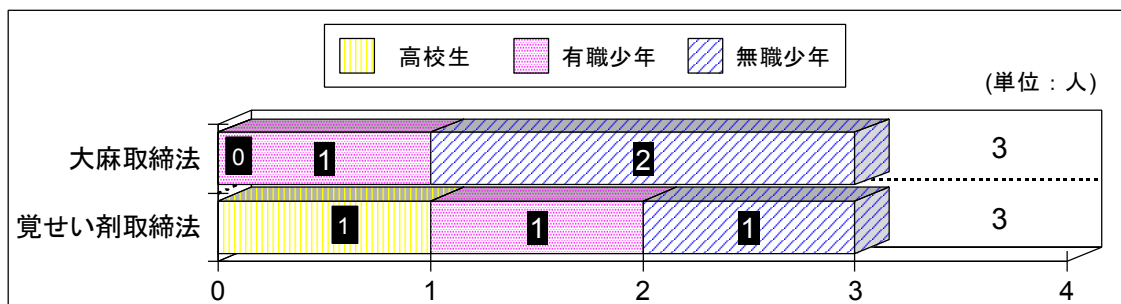
刑法以外の刑罰法令に違反し又は触れる行為をしたため検挙・補導した少年は175人で、前年に比べ11人(6.7%)増加しました。



○ 薬物乱用少年

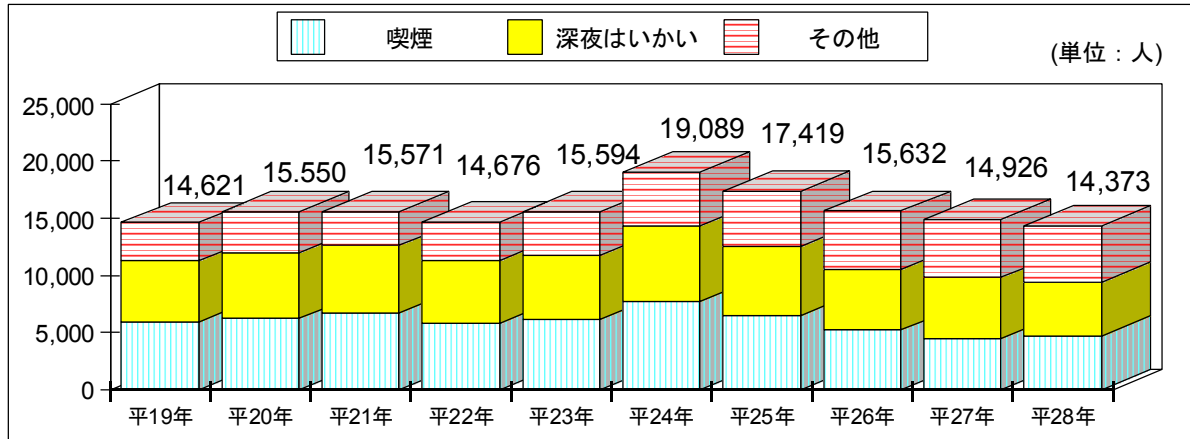
薬物乱用少年は6人で、前年に比べ4人(40.0%)減少しました。

学職別では無職少年が3人、有職少年が2人、高校生が1人です。



◆ **不良行為少年** (非行少年にあたらないが、自己又は他人の徳性を害する行為をしている少年)

喫煙、深夜はいかいなどで補導した不良行為少年は1万4,373人で、前年に比べ553人(3.7%)減少しました。



○ **深夜はいかいと喫煙で6割を超える**

不良行為少年の行為別では、喫煙が最も多く、次いで深夜はいかいと続き、喫煙と深夜はいかいで65.4%を占めます。

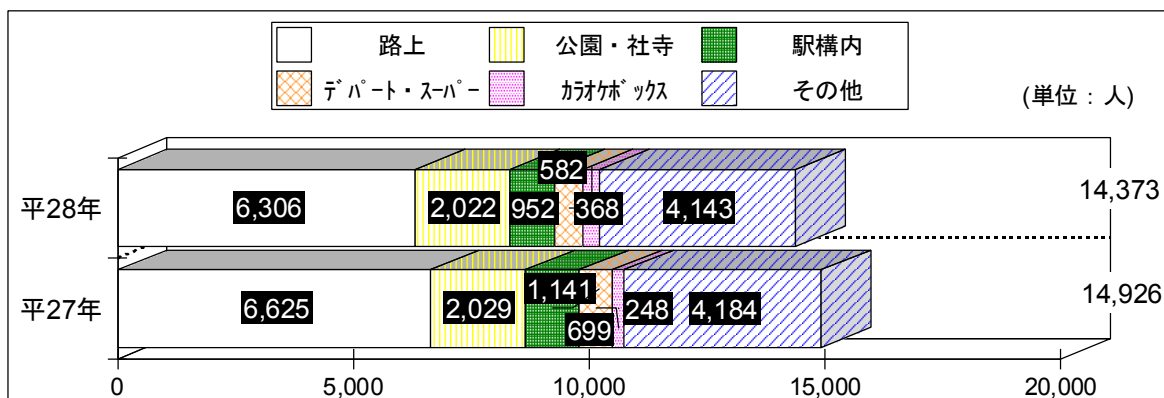


(単位：人)

	総 数							有職少年	無職少年
	未就学	児童・生徒・学生				その他の学生			
		小学生	中学生	高校生					
総 数	14,373	4	10,555	348	1,791	6,482	1,934	2,665	1,149
喫 煙	4,737		2,454		172	1,022	1,260	1,664	619
深夜はいかい	4,656	1	4,171	29	461	3,654	27	281	203
飲 酒	1,628		940	2	50	312	576	502	186
不健全娯楽	1,153		1,105	9	359	729	8	26	22
粗暴行為	1,072	2	910	172	340	358	40	107	53
家 出	456	1	410	67	198	136	9	17	28
怠 学	183		183	28	88	67			
不健全性的行為	138		122		25	96	1	7	9
無断外泊	124		110	6	47	57		4	10
その他	226		150	35	51	51	13	57	19

○ **行為場所は路上が4割を超える**

不良行為をした場所は、路上が6,306人で43.9%と4割を超え、公園・社寺、駅構内と続きます。

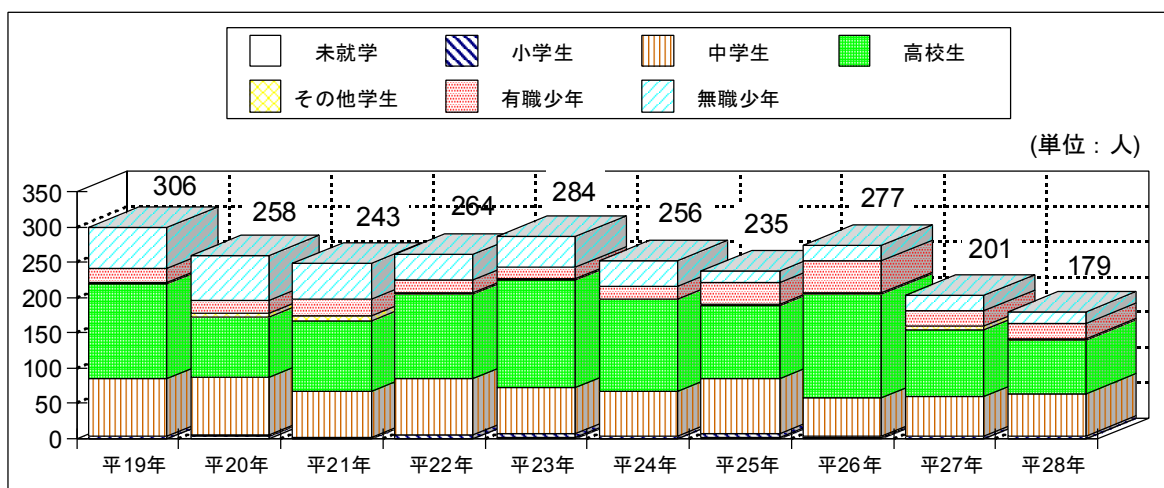


● **福祉犯の概要**

少年の福祉を害する犯罪（福祉犯）の検挙人員は297人で、前年に比べ36人（10.8%）減少しました。

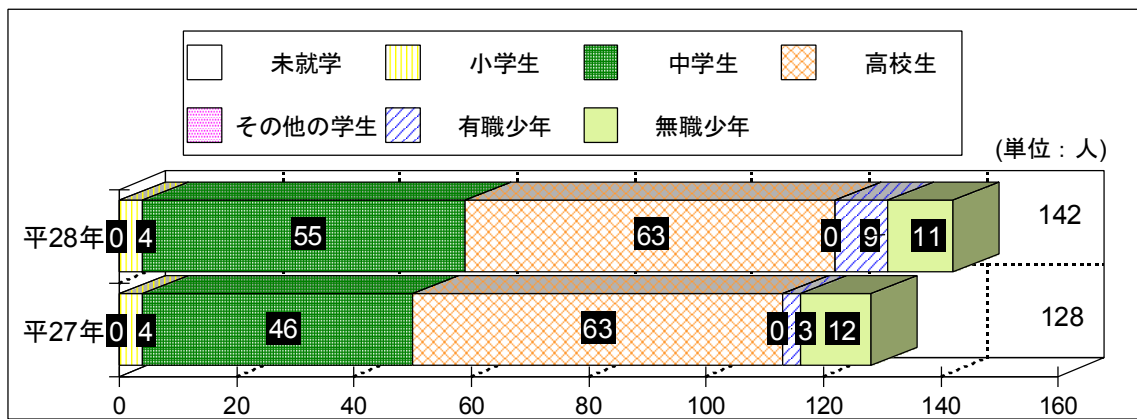
◆ **福祉犯被害状況**

福祉犯の被害少年は179人で、前年に比べ22人（10.9%）減少しました。



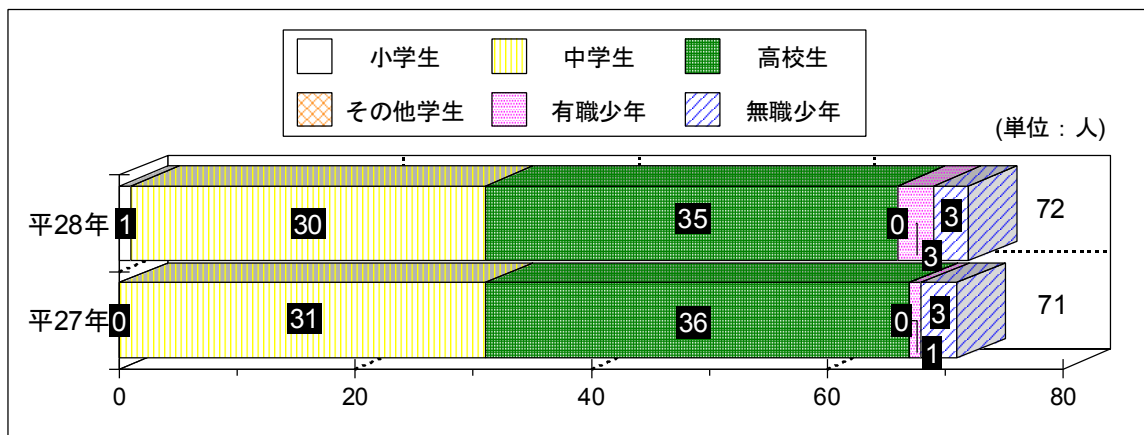
◆ **被害少年の性的被害状況**

被害少年179人の79.3%に当たる142人が、児童買春や北海道青少年健全育成条例違反の淫行などの性的な被害に遭いました。



◆ コミュニティサイト等利用が原因の被害状況

コミュニティサイト等（出会い系サイトとコミュニティサイト）の利用に起因する福祉犯の被害少年は72人で、全体の40.2%を占め、前年に比べ1人(1.4%)増加しました。



※「コミュニティサイト」とは、SNS、プロフィールサイト等ウェブサイト内で多数人とコミュニケーションがとれるウェブサイトのうち、出会い系サイトを除いたものの総称。